



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第7号
平成30年11月15日
校長 松丸 晴美

「深刻ないじめの未然防止に向けて」
～ 高めよう〇〇力を ～

暦の上では「立冬」を迎えましたが、日中は半袖姿の生徒も多く、例年より暖かい霜月です。

東京都では、この11月を「いじめ防止強化月間」と定めており、本校でも生徒会が中心となり、全校生徒・教職員で「いじめをしない、許さない」という思いを言葉にして「思いやりの木」を完成させる取り組みを行います。

10月最後の全校朝礼で、「思いやりの気持ちをもって行動するために〇〇力を高めることが大切」という話をしました。生徒にも「〇〇にはどんな言葉が入るか考えてみて」と問いかけました。私が考えたのは、「いじめをなくすには、誰もが、相手の気持ちを察して行動できる**想像力**を高めることが必要」でしたが、教員に聞いてみると、「共感力、人間力、行動力、尊重力、鈍感力、予想力、忍耐力、理解力、包容力、表現力、共生力」という具合に、様々な答えが出てきました。さて生徒はどんな力を考えたでしょうか？



思いやりの木の葉に書かれた言葉の中で多かったのは、「人の気持ちを考えて行動する」「陰口を言わない。無視しない」「ネットでは強い言

葉を使わない」「ひとりぼっちにさせない」など、自分自身の心構えを書いた言葉でした。中には「いじめを見つけたら、すぐに先生に言う」「見ているだけでもそれはいじめです」という傍観者にならないという決意の言葉もありました。

「思いやりの木」の取り組みは、今年度の小中一貫教育の取組のひとつ「児童・生徒会サミット」において、本校から連携校である石神井西小、立野小、関町小に提案したものです。きっとどの小学校でもいじめの根絶に向けて同じ取り組みをしてくれたのではないかと思います。

毎年4校で、テーマを決めて開いている「児童・生徒会サミット」は今年で5年目になり、小学校時代に参加した児童が今や本校の生徒会役員としてリーダーシップを発揮していることを大変嬉しく思っています。

中学生ともなると、親や先生に相談するのは恥ずかしい。心配をかけたくないといった気持ちが先立ち、一人で悩みや嫌な気持ちをかかえてしまう生徒もいます。また、低学年の生徒を見ていると、自分の言葉や行為を相手が嫌がっているということに気が付かないばかりか、教員に指摘されても、なぜなのか理解できないケースが増えているように感じます。

学校では、生徒同士気が付いたことはすぐに先生に知らせるように指導していますが、ご家庭でもお子様の様子に気になることがありましたら、担任やスクールカウンセラーなどに、気軽にご相談下さい。

近年は、SNSの発達により、子供たちのいじめは大人には見えにくいネットの世界にまで入り込んでいます。今後も引き続き、大人も子供も一丸となって「いじめを許さない、見逃さない学校づくり」を推進していきたいと考えています。

3年生 修学旅行～学習の集大成～

3学年担当 伊藤 友文

10月8日（祝月）から2泊3日、京都・奈良方面へ修学旅行に行ってきました。運動会が終わった5月から修学旅行に向けての取り組みが始まり、きまりの検討、係編成・係会議、コース検討、しおりの読み合わせなど、多くの事前学習に取り組み、準備を進めました。実行委員からは”Learn, Enjoy, Travel”の3つの頭文字L・E・Tで始まる”Let’s start”というスローガンも提案されました。当日訪ねる寺社の下調べを入念に行ったり、時程を調べたりとそれぞれの係や役割を全うし、頑張った人も多くいました。

待ちに待った当日の朝。東京駅の団体集合場所では、たくさんの学校が集まる中で静かにスムーズに集合する様子が見られ、西中生の立派さが際立っていました。初日に訪ねたのは奈良です。法隆寺や東大寺の大仏殿を訪ね、生の迫力や感動に圧倒される様子が見られました。二日目は、京都市内を自分たちが考えたコースを一日かけて班で見て回りました。入念に調べたつもりでも予定は未定。バス停まで走ったり、見学時間が十分にとれなかったり、予定を変更せざるを得なかったりと多くのハプニングがありました。それでも旅の醍醐味です。宿舎に帰ってきた人の多くは一日を満喫できた喜びで溢れていました。夜は体験学習です。伝統芸能である“能”の鑑賞教室が行われ、講師の先生の巧みな話術と迫力ある生の演技に圧倒され貴重な体験をすることができました。三日目。最終日となる



この日はタクシーを利用したの京都市内半日行動でした。地元の方であるタクシーの運転手さんと道中をともにし、楽しく過ごすことができました。

あっという間の2泊3日の修学旅行でしたが、その行事の前後で得たものや感じたことはたくさんあります。特に現地の人の温かさや寝食をともにして気付く友達の温かさ、そして離れて気付く家族の温かさなど人の思いに触れる機会が多かったようです。修学旅行が終わり、進路に向けて本格的な取り組みが始まった3年生。これからもたくさんの温かな思いに触れて真っ直ぐ歩んでいけるよう支援していきます。



3年生 高齢者社会福祉体験

生涯学習部主任 佐藤 めぐみ

「一緒に歌を歌い、演奏をしてもらい皆様本当に喜んでおられました。涙する方もいらっしゃいました。我々（施設の職員）とは違うエネルギーをもらえたと思います。ありがとうございました。」

10月に実施いたしました高齢者社会福祉体験の施設の方から上記のような感想をいただきました。昨今の核家族化により現代の中学生は高齢者と触れ合う機会が減っています。一方で、日本の高齢化は増々進展すると思われま。そこで高齢者の方の特性を知り、触れ合うことを通して思いやりの心や態度を培っていく目的で、近隣の高齢者福祉施設に伺い、交流などを体験させていただいております。9月13日には慈雲堂病院より看護師の皆様にご来校いただき「認知症サポーター養成講座」を事前学習としておこないました。またそれぞれの施設の利用者の方のご様子を事前にうかがい、歌や合奏の練習、折り紙の練習、クイズの作成など、各グループで準備をして出かけました。緊張して出かけていった生徒たちを、それぞれの施設では孫が遊びに来てくれたかのように迎えてくださいました。生徒たちも人生の大先輩の方々より多くのことを学ぶことができた素晴らしい機会となりました。



1年生 「ボッチャ」体験学習

保健体育科 長谷川 健太

10月23日(火)に1年生を対象に『ボッチャ』の体験学習が行われました。講師として、ロンドンパラリンピック・ボッチャ代表選手の秋元妙美さんと同ヘッドコーチの渡辺美佐子さんをお招きしました。

ボッチャとは、重度脳性麻痺患者などを対象に考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ボールを投げたり転がしたりして、いかに目標球に近づけるかを競います。ボールを投げることができなくても、勾配具を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加することができます。

秋元さんはパラリンピック出場を目指して13年間努力を続けてきました。その経験から、自分だからできることを精一杯やることや、マイナスはプラスに変えられることを力強く伝えてくれました。

2時間目からは各クラスごとにボッチャ体験を行いました。クラス対抗で競い合い、大変盛り上がりました。1年E組では、副籍交流として大泉特別支援学校の女子生徒と一緒に参加しました。本校の学区内に住む同学年の生徒です。最初は緊張が見られましたがE組生徒の声かけなどもあり、徐々に笑顔が見られました。ボッチャは運動の得意な生徒も苦手な生徒もみんなと一緒に楽しめるスポーツでした。この日の交流を通して、障がいへの理解、心のバリアフリーにつなげてほしいと思います。

秋元選手の言葉より

「まわり道でも、進んでいけば何かある。勇気をもって、自分らしくあることが大切です。そして、その中で助けてくれる人に、『ありがとう』の気持ちを伝えていきましょう。」



2年生 校外学習

2学年担当 教諭 川島 彩加

11月2日(金)に、校外学習でお台場にある東京グローバルゲートウェイ(TGG)と日本科学未来館へ行ってきました。TGGは今年9月にオープンした新しい英語学習施設で、本校でも初めて体験してきました。TGGでは、グループごとにエージェントと呼ばれる外国人がナビゲートし、ゲームを交えた自己紹介や空港やホテル、ショップでの英会話をイメージしたミッションプログラム、英語によるプログラミングやダンスの授業を体験しました。施設内では全プログラムが英語で行われ、生徒も最初は緊張した面持ちでした。しかし、次第にエージェントとの会話が弾んだり、ミッションに成功する経験を重ねるうちに、コミュニケーションを楽しむ様子も見られました。「英語を学ぶ」だけでなく「英語で学ぶ」ことを体感できるきっかけになったと思います。



午後は日本科学未来館で、自分で決めたテーマについて各自が調べ学習をしました。世界や地球、そして未来を考える展示はどれも興味引かれるものばかりで、真剣に見学している生徒が多くいました。「ASIMO」の実演なども行われ、科学技術のすばらしさや可能性を実感することができたと思います。今回の校外学習が今後の英語や理科、数学の学習への刺激になってくれることを期待したいです。

西中生の活躍

英語劇同好会 with 3 年生有志 3 名

第 55 回練馬区中学校英語学会(10/20)にて、

Play「The Bell of Atri」を演じ、練馬区代表校に選ばれ 12/2 に行われる都大会に出場します。

卓球部

第 71 回練馬区民体育大会卓球競技（中学生の部）(10/7)

女子団体 第 3 位

女子個人 第 2 位 岩崎 泉

第 55 回練馬区中学校生徒総合体育大会卓球新人大会(11/4)

女子シングルス 第 1 位 岩崎 泉、第 2 位 木村菜々

(上記女子 2 名と男子 2 名が 12 月に行われる都大会出場します。)

バスケットボール部

第 55 回練馬区中学校生徒総合体育大会バスケットボール新人大会(11/4)

男子 優勝 女子 優勝 (男女とも今週末からの都大会へ出場します。)

陸上部

第 71 回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会(10/21)

男子共通 4×100m 第 5 位 記録 44 秒 25 練馬選抜 (藤村慶弥、下村健太、ほか他校生徒)

男子 3 年 100m 第 6 位 記録 11 秒 46 下村健太

男子 1 年 1500m 第 2 位 記録 4 分 30 秒 32 中村悠人

女子 1 年 100m 第 5 位 記録 13 秒 73 川崎啓子

女子 2 年 100m 第 4 位 記録 12 秒 98 上田彩月

女子共通 4×100m 第 4 位 記録 50 秒 03 練馬選抜 (上田彩月、ほか他校生徒)

女子 3 年 800m 第 7 位 記録 2 分 26 秒 82 窪田こころ

男子 1・2 年走高跳 第 2 位 記録 1m73 佐藤虹太郎

GO WOMEN 東京ウィメンズ陸上 2018(11/4)

女子中学 4×100m 第 8 位 記録 53 秒 66 伊藤美波、小川穂里、高木星音、窪田こころ

女子中学 800m 第 3 位 記録 2 分 26 秒 99 (大会新記録) 窪田こころ

各種コンクールの表彰

練馬区読書感想文コンクール(10/9)・・・ () 内は (感想文のタイトル/書名) です。

優秀賞 3 年 鈴木律子 (「自分」でいること/何者)

佳作 3 年 柏崎直緒 (結果より大切なこと/もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーマネージメントを読んだら)

佳作 2 年 田中美羽 (一冊から学ぶ「人」というもの/一〇五度)

佳作 2 年 堀内日菜子 (選択/杜子春)

佳作 1 年 藤井陽希 (今を精一杯生きよ/夏の庭)

佳作 1 年 川口結愛 (「夏の庭」を読んで/夏の庭)

第 68 回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト (東京都推進委員会)

佳作 3 年 大井颯人 「犯罪のない明るい未来を目指して」・・・練馬区からは唯一の入賞作です。

練馬区環境作文コンクール審査結果(11/5)・・・中学校部門には練馬区 10 校から 693 作品が集まりました。

最優秀 1 年 関 穂華 「みんなに教えたいねりまの自然」

佳作 1 年 中山三鳳 「食べ残し」

佳作 1 年 丸山奈々 「少しの意識でできること」